

歴博 くらしの植物苑だより

第112回くらしの植物苑観察会 7月26日(土)

植物で染める

加藤 國男(愛知産業大学 造形学部)

1 植物染色とは

お茶・ジュース・ケチャップなどを衣服にこぼしてシミをつくった経験は誰にでもあるものです。これらの汚れは洗濯をすれば、淡くなります。しかし、まれに井戸水で洗濯をすると、シミが洗濯の度に次第に濃くなることがあります。それは井戸水に溶けていた金属塩とシミの中のタンニンなどの植物染料成分とが化学反応を起こし、水に不溶性の顔料になってしまった為です。このように、水に溶けた金属塩の仲立ちにより、植物染料を繊維にくっつけ、不溶性のものにすることを植物染色(草木染)と呼びます。人類はカラフルな衣類を身に付けたいという欲求から、世界中でそれぞれ身近に手に入る動物・植物・鉱物で染色をしてきました。リンゴの台木に使われ、ミツバカイドウとも呼ばれるズミは「染み」の意味で、樹皮を黄色の染料として使われてきました。また古くから染色につかわれてきたカリヤスの学名は *Miscanthus tinctorius* といいますが、ラテン語で *tinctorius* は「染色用の」とか「染料の」という意味であり、古くから染色用に使われて来た為に命名されました。ハーブのコウヤカミツレ(ダイヤース カモマイル)や草花のハルシャギク、西アジアやヨーロッパで赤い色を染めるのにつかわれたムツバアカネの学名の命名理由も同じです。

2 媒染剤

染料と繊維の仲立ちをするものを媒染剤といいます。媒染剤は水に溶ける金属塩で、かつては「お歯黒」(酢酸鉄)や草木灰がつかわれました。とくに植物のムラサキで染めるときには、アルミを多く含む、サワフタギやヒサカキなどの灰が使われました。八丈島・奄美大島・沖縄などでは「泥染め」といって、今でも田んぼや池の底の泥で媒染をしています。これは泥の中に含まれる鉄などの金属で媒染して発色させる方法です。

現代の植物染色は媒染剤として酢酸アルミ・ミョウバン・塩化第一錫・酢酸クロム・塩化第一鉄・硫酸第一鉄・酢酸銅・硫酸銅などの金属塩や木酢酸鉄などが使われます。

植物染色には媒染剤のいらぬものもあります。カレー粉でおなじみのウコンの根茎や、きんとんを黄色に着色するクチナシの実などはそれらを煮出した汁だけで直接染めることが出来ます。このほか藍染は媒染剤を使わず、特別な方法で染められてきました。

3 藍染

日本では藍染にタデアイやリュウキュウアイがつかわれてきました。これらの植物体の中にはインディカンという藍の成分が含まれていて、葉を乾燥させると藍色になります。タデアイは収穫後乾燥させて貯蔵しておき、秋に全ての乾燥させておいたタデアイを積み上げます。約90日間、水を掛けてはタデアイの山を切り返す作業を続けてスクモにします。その葉(スクモ)を藍瓶に入れ、小麦粕(ふすま)・灰汁(あく)・石灰を加えて、染色ができるようにします。これを、「藍を建てる」と言います。その中に糸や布を浸けた後、引き上げると、空気中の酸素で藍が青く発色します。

タデアイの栽培は江戸時代に盛んになり、16世紀以降普及した木綿を染めて、緋・縞などが

織られ、庶民の衣料として発達しました。

4 染料植物

染色に使用する植物の部位は、花・茎・葉・枝・樹皮・実・根などですが、日本のかつての染色では里山など、身近な所に生えている植物が利用されてきました。また元々稀にしか生育していないムラサキはほとんど採り尽くされたり、遷移や造林など生育環境が変化した為に絶滅に瀕している植物もあるので採取には注意したいものです。

しかしその反面、都会の街路樹や庭木のように剪定の時期に遭遇すれば大量に入手できるものもあります。最近ではハーブ(カモマイル・フェンネル・ヤロウ・クロタネソウなど)・草花(ブルーレースフラワー・マトリカリヤ・キンギョソウ・ルピナス・マリーゴールドなど)・庭木(ゴールドクレスト・ピラカンサス・ユーカリ・モリシマアカシア・アメリカハナミズキなど)に外国の植物が数多く導入され、染料として利用できる植物の種類が大幅に増えてきました。

また都市周辺の宅地、工場用地、リゾート地など、開発に伴い帰化植物のはびこるところでは、それらも大量に染色に利用できるようになってきました(セイタカアワダチソウ・オオキンケイギク・キショウブ・アメリカセンダングサ・フランスギクなど)。そのほか果樹の産地では冬期に剪定した枝が入手可能ですし、また野菜を収穫した後の茎葉などでも染めることができます。



カリヤス



カリヤスで染めた糸

次回予告

第113回くらしの植物苑観察会 2008年8月23日(土)

「伝統の朝顔展の舞台裏」 辻 圭子 (国立歴史民俗博物館)

10:00~12:00 (予定) 苑内休憩所集合 申込不要 要入苑料